甘

てか

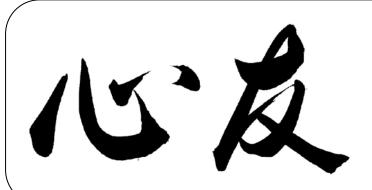
の言葉は、

本当にうれ

しいものです。

お菓子と、苦味がきいている抹茶

 \mathcal{O}



第36号

身体障害者療護施設

「ニューライフ君田」

広島県三次市君田町東入君357-1

Tel0824-53-2080





つか

11

ッまっ る

りい

素者

利

用

*人が入れた。 しおられ、、

おい

う

楽

茶を

たてる

職 し

りがとう。 茶道の達 茶道の達

いが

う

は出

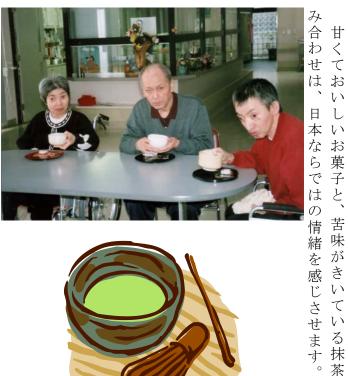
せな

いものの、

もらえる「ありがのの、一杯一杯、心にものですから、茶

います。

だからこそ、





が も今 開 2 よ回催月 りは、 は ま 所 L 施設。 \mathcal{O} < 数 利 の空模様でしたが、 \mathcal{O} 用 お 抹茶会という事 \mathcal{O} 4 0 参 加 抹 に 茶 ま ナ

治

委

渡

邉

泰

自広書会服会

会

藤

亀

井

義

則

平成二十一 年度自治会役員 改

わ れ平 成 新 21役 年 員 2 が 月 選 21出 日 さ れました。 自 治会総会が

行

0

清

1//

幼

稚

遠

ഗ

み

な

さ

h

来

園

新会長 Ш

前ま 事 初め この す が \otimes ることに Ó ての あると思 度、 でよろしく 経 な <u>\pi</u> 験 で、 りまし 成 祐 1 ま 21 お す 年 た。 が迷 · 度 自 、精一杯 惑をおかけ 小 致 Ш いします。 三会会長 祐太です。 頑 する 張 を 務 1)

会長 亀 井義 則

いか不せ 7 と思 快に思われる事もあ て頂きました。 頂 九 きながら、 期 71 t 、ます。 の長 7 間、 な 本当にありがとうござ 色々試行錯 んとか会長 多く いったの \mathcal{O} 方 出誤を重 では を 々 務 に ない め助 ね さ け

年 度 金小自 治 会役!

Ш

英 祐

範 太

平

記計長長 吉佐中池 島 川上 明 李 紘 富 美江伸雄 子

細 藤 田井 豊正 殼

年 12 月 12 月 次 清 心 幼 稚 亰 \mathcal{O}

児昨 0) みなさん が 来 **湿され** まし た。



どに 自が ょ 分 ほ 2の孫もしくは、はとんどない利用 う 感 じら 小 さな れ た方もお 子 用者 供 甥 さ つっ子、 5 λ ħ と て にとって、 触 は 姪 れ 子 合う な 7 な 事 で

> うな、歌や演奏を披露してくれました。 1 る人たち全員を元気にしてくれるよ そ して元 気 な 遠 児と λ 達 は、



たら、 母 れ れ る、 て協力下さい イイなぁ カュ 5 皆さ ŧ あ りがとうございました。 لح こんな λ んと交流 願 って ました、 風 11 が に 、ます。 続 笑 顔 て لح 元 11 父 つ気 春

外が

に来

出た

た

6

け

田粉

邊症

佐と

宁

季見

島

春

近

土

D

+

か

出与

<

月 る

僑

春 早よ 桜く来

が来い

見い

た

6

金よ

周 |

口

 \mathcal{O}

お

題 は

春

!

!

春

0

ぽ

11

は

な

B

作ご覧ください。 今 回 な俳句が咲きそろいました は川柳も初・登場です E 木だ のま ポ芽り カかに ポ吹 皆さん カく

> ス 今ギ 二年老 ユは粉 1早 スい 言と う

0

力

吉 71

節扎 がば わ 変か わる

川柳せんりゅう 発句の一種で柄井川柳 によってはじめられる。 形は5.7.5の17文字 て"口部限でおむもの。 俳句とちがって季き入 れる必要がないようですよ

入 喜所 き びょ 人見来勇 た上たん たげけで ずてれ 光む

倉

猫だ がま あすり くわで びっ すて 亀る 谷

新り

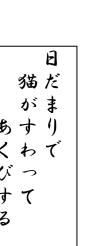
家





く 頼し をん 春出ぼ がす 来と 藤た 井

考知中…



l วิโนววิโนว

焼 肉 だ 全員集合!」

足 た。 焼 な 肉 λ パ λ ے ا L 1 0 テ か 今 菜 カュ イ は 口 り 1 各自持 食 は 第 全 2 ベ 員 弾 5 集 ち を れ 寄り 合 開 満 !! 催 で 足 L ま 人 満 L



花 粉 症 に 効 <食 物

症 \mathcal{O} 季 節 に なると、 必 ず 耳 に す る 花

粉 引に き 入り、 症 杉 に 起 Þ 効 ヒ くと言 す < ア L キ レ Þ 等 わ 4 ル \mathcal{O} れ ギ B 花 る] 鼻 粉 食 症水が 鼻 状 物 で 目 \mathcal{O} すの 粘 が が痒膜 あ 、みや り ま花を目

茶

る。 水っ、緑緑 茶に 目 0) 含 痒 4 ま のれ 症 る 状を 力 テ 丰 抑 える ン に 効 ょ り、 果 が あ鼻

青紫蘇

死 ギ 紫蘇に含 因子)の:] \mathcal{O} 原 ま 分泌 因 と言わ れ る を ルテリオ 制御 れる T らする。 ン N が F (腫 T 瘍

り る 酢 S 11 だ あ ま ます。 試 等 そ け <せ がの んが、花が、 まで 花 ほ みて 粉か 症 に 下 薬 症 に ŧ, さ やそ 効 症 果 病 の状 納 院 £ を が 豆 嫌 の抑 あ ると ア \mathcal{O} え 11 な 治 る セ 言 効 療 口 ラ、 はに果 わ はが れ ぜなあ て黒

て

温 か い お あ心 を ŋ がとうござい ま

き 東 読 清 菊 星 N か洋売心地野 T ん羽新幼 V) T 坊毛聞稚実ち〇 工大園 江Β 様業阪 様 会 株本様 様 式 社 様 会社様 様

後 記

L たい。ト ょ 1 ょ 暖 カ 1 季 節 が Þ 0 て き ま

うて寒な。 い波つ梅 たが ての 芽やき花 もったも びてと満 つき思開 < て、 って り 雪い山 たちたこと での冷ら しぞたし よいい

す 暖 い寒 みか体 日暖 るい調 がの 管 の日 ま差 理に だが は陽 L ま激 + だし いに 分注 あ か 続 いたり、 が く と 意しまし で 風 思邪 ょ 1 を う を ま 7 よう。 か 見 す き のや